

いじめ防止対策プログラム 全体計画

平岡南中学校

□基本理念

- ①学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにする。
- ②いじめの影響や問題について、生徒が理解を深められるようにする。
- ③家庭、地域、関係機関と連携し、いじめの問題を克服することを目指す。

□基本目標

いじめ等の命に関わる問題の未然防止に資する取組を強力に支援するとともに、子供の居場所づくり・絆づくりを進め、自己有用感、自己肯定感を高める教育活動への支援をおこなう。

□行動目標

- ①いじめ問題等の未然防止への取組を推進する。
- ②いじめ問題等の早期発見・早期対応に向けた取組を推進する。
- ③いじめ問題等の解決を図るため、関係機関と連携した取組を推進する。
- ④いじめ問題等の解決を図るため、推進体制、検証体制の充実を図る。

□基本構想

職員会議等の組織的推進体制・職員研修・家庭地域への啓発等	① 職員会議で、指導方針、全体計画、年間計画の共通理解を図る。 ② PDCA サイクルにより、7月・12月・3月に学期毎のいじめ対策の検証を行う。 ③ 適応支援推進委員会を毎月1回行い、情報交換する。 ④ 学校運営協議会との連携による活動を推進する。 ⑤ スクールサポートチームによる学校支援を充実させる。 ⑥ スクールカウンセラーによる「いじめのないクラスづくり」研修を実施する。
未然防止に向けた取組	① 「いじめ防止啓発月間」(9月)に「9月はいじめ防止啓発月間です」の懸垂幕をかけ、生徒のいじめに対する意識高揚を図る。 ② ネットトラブル防止講座を実施する。(9月・全校) ③ 全ての生徒が参加・活躍できる「わかる授業」づくりを推進する。 ④ 生徒会役員が中心になって「いじめ防止ポスター」を発行する。 ⑤ 学校外施設とのいじめ防止対策の連携を進める。 ⑥ 子どもたちを支えるための教職員集団の専門性・同僚性の構築を図る。 ⑦ ヒラナン学を年間8回実施し、認知機能を強化することで、生徒の自己理解力や他者意識を育成し、共感的人間関係を構築する。
早期発見・早期対応に向けた取組	① 毎朝「心の健康チェック」をグーグルフォームで実施し、生徒の心の変容に早期に気づき、職員で情報共有をはかり組織的に対応する。 ② 「学校生活に関するアンケート」(アセス)を年2回実施し、支援策まで確実に実施する。 ③ 「心の相談アンケート」を年2回実施し、生徒の実態を把握する。 ④ 9月(学期はじめ)にいじめだけではなく、学校生活全般に対する適応状況を把握する学校独自のアンケートを実施する。 ⑤ 教育相談週間を年2回実施する。 ⑥ 学校園連携ユニットを活用した保幼小中養連携の充実を図る。 ⑦ 学校運営協議会との連携による活動を推進する。 ⑧ 「チーム学校」による推進体制の検証と活用に係る研修を実施する ⑨ 「学年担任週間」を月に一度設け、学年職員が一体となって生徒と関わることで、生徒の心の居場所を増やす。 ⑩ 「生徒のいるところに教師あり」の方針で、業間や昼休みの巡回によりいじめの早期発見に努める。 ⑪ 生徒会による「いじめ防止をテーマにした劇」を人権発表会でおこなう。